

重要な形質の指定に関する説明資料



令和元年12月23日

農林水産省
食料産業局

重要な形質とは



(法第2条第2項、第7項)

1. 重要な形質は、**品種登録の要件である区別性、均一性、安定性の審査に用いられ、品種登録の適否を判定するための重要な要素。**
2. 重要な形質以外の形質で差異があっても区別性は認められない。
3. 我が国では、UPOVの指針に基づき、「重要な形質」を具体化したものを「審査基準」として使用。

○UPOVの特性審査（区別性、均一性、安定性）のための一般指針 ＜特性審査に用いる形質に必要な要件＞

- ① 一定の遺伝子型又はその組合せの結果発現するもの
- ② ある環境条件の下で、十分な一貫性と再現性があるもの
- ③ 品種間で区別性を確定できる十分な違いがあるもの
- ④ 詳細な定義及び認識が可能なもの
- ⑤ 均一性の要件を満たすもの
- ⑥ 安定性の要件を満たすもの

我が国の審査基準とUPOVテストガイドラインとの関係



【我が国の審査基準】

690種類 ⇒ 698種類

【UPOV-TG】

322種類 ⇒ 330種類

【我が国の審査基準、UPOV-TGが共に作成済み】

223種類 ⇒ 228種類

うち UPOV-TG 整合済み

178種類 ⇒ 180種類

うち我が国の審査基準のみ

470種類

うちUPOV-TGのみ

102種類

諮問植物予定一覧



1. 区分を新設するもの

- (1) アンペロプシス グランドウロサ
- (2) ディスキディア ルスキフォリア
- (3) フィクス ナタレンシス
- (4) オオイタビ
- (5) オリーブ
- (6) メノマンネングサ
- (7) ハナセンナ
- (8) ウロクロア
- (9) その他観賞樹
- (10) その他球根類
- (11) その他ラン類
- (12) その他草花（その他球根類
及びその他ラン類を除く。）

2. UPOVテストガイドラインへの準拠等により 改正するもの

該当なし

3. 審査の運用の結果等により改正するもの

- (1) クワ
- (2) キリンソウ

1－1. これまでに出願のなかった植物種類について、審査の必要上から審査基準を作成するため、区分を新設するもの



- (1) アンペロプシス グランドゥロサ
- (2) ディスキディア ルスキフォリア
- (3) フィクス ナタレンシス
- (4) オオイタビ
- (5) オリーブ
- (6) メノマンネングサ
- (7) ハナセンナ
- (8) ウロクロア
- (9) その他観賞樹
- (10) その他球根類
- (11) その他ラン類
- (12) その他草花(その他球根類
及びその他ラン類を除く。)

種類数

作物区分別新規植物出願状況

新規植物のうち、草花類、観賞樹が全体の約80%を占める。

作物区分	植物種類	左記のうち1品種のみ	率
食用作物	3	3	100%
工業作物	5	2	40%
野菜	17	13	76%
果樹	14	5	36%
飼料作物	7	3	43%
草花類	137	76	55%
観賞樹	89	61	69%
海藻	5	5	100%
きのこ類	3	0	0%
計	280	168	60%

年度

1－3. 「その他観賞樹」、「その他球根類」、「その他ラン類」、「その他草花（その他球根類及びその他ラン類を除く。）」の区分の新設

○「重要な形質」を定めることが困難な植物については、観賞樹について「その他観賞樹」、球根類について「その他球根類」、ラン類について「その他ラン類」、その他草花について「その他草花（その他球根類及びその他ラン類を除く。）」として新設。

① 出願された新規植物のうち、我が国で品種の流通がほとんどなく、「重要な形質」を定めることが困難な植物種類は以下の区分の重要な形質で審査

- ・観賞樹 → 「**その他観賞樹**」
- ・球根類 → 「**その他球根類**」
- ・ラン類 → 「**その他ラン類**」
- ・球根類やラン類以外の草花 → 「**その他草花**（その他球根類及びその他ラン類を除く。）」



- ・区分ごとに共通的に設定した「重要な形質」に基づき品種登録審査
- ・重要な形質の特性は、階級値に依らず絶対値（統計的検定を行った値を含む）により公知の対照品種等との比較を行った上で、登録可否を判断

※ その後、複数品種の出願が認められた場合には、上記の区分から、新たな植物の区分として審査基準を作成

② UPOV テストガイドラインが既に存在する植物、近縁種の審査基準がある植物、UPOV加盟国において審査基準がある植物については、それらを活用して、従前の通り新たに審査基準を策定し審査を実施。

1－4．区分を新設するもの



(1) アンペロプシス グランドウロサ (学名 : *Ampelopsis glandulosa* (Wall.) Momiy.)

改 正 案	現 行
<u>新しう先端部の若葉の主な色、新しうの節間の毛、枝の長さ、枝の巻きひげの長さ、枝の節間長、枝のアントシアニン着色の分布、枝の節間のアントシアニンの着色、葉の裂刻の深さ、葉の緑色の濃淡、葉の斑の有無、葉の斑の主な色、葉の斑の複色の有無、葉の斑の複色、葉の光沢、葉の裏面の毛の有無、葉の裏面の毛の分布、葉の裏面主脈上の毛の粗密、葉の基部の形、葉の先端部の形、葉身の長さ、葉身の幅、葉身の長さ／幅、葉柄の長さ</u>	なし 

1－4．区分を新設するもの



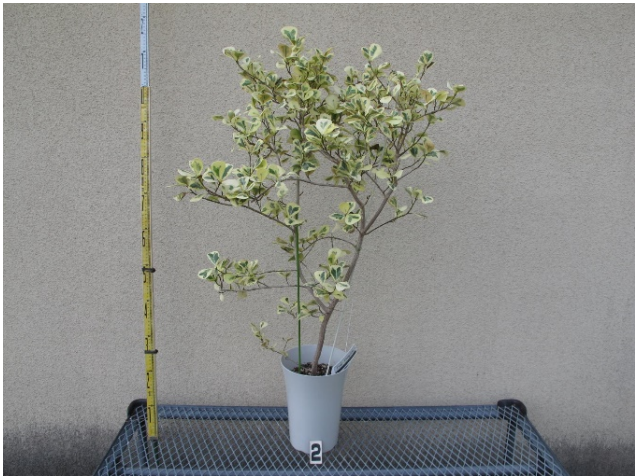
(2) ディスキディア ルスキフォリア (学名 : *Dischidia ruscifolia* Warb ex K.Schum. & Lauterb.)

改 正 案	現 行
<u>節間長、茎の緑色の濃淡、葉身の長さ、葉身の幅、葉身の形、葉身の先端部の形、葉身の基部の形、葉身の斑の有無、葉身の斑の型、葉身の斑の色、葉身の表面の主な色（斑の色は除く）、葉身の裏面の主な色</u>	なし 

1 - 4. 区分を新設するもの



(3) フィクス ナタレンシス (学名 : *Ficus natalensis* Hochst.)

改 正 案	現 行
<u>樹姿、幹の色、新しうの色、枝の着生角度、葉身の長さ、葉身の幅、葉身の長さ／幅、葉身の最大幅の位置、葉身の基部の形、葉身の先端部の形、葉身の横断面の形、葉身の地色、葉身の斑の有無、葉身の斑の一次色、葉身の斑の一次色の分布、葉身の斑の一次色の模様、葉身の斑の二次色の有無、葉身の斑の二次色、葉身の斑の二次色の分布、葉身の斑の二次色の模様、葉身の周縁部の波打ち、葉柄の長さ</u>	なし 

1－4．区分を新設するもの



(4) オオイタビ（学名：Ficus pumila L.）

改 正 案	現 行
<u>株幅、枝の長さ、枝の太さ、枝の毛の粗密、節間長、側枝の多少、葉身の長さ、葉身の幅、新葉の地色、新葉の斑の有無、新葉の斑の色、葉身の地色、葉身の斑の有無、葉身の斑の色、葉身の斑の分布、葉身の斑の大きさ、葉身の凹凸、葉身の周縁部の波打ち、葉柄の長さ、葉柄のアントシアニンの着色</u>	なし 

1 - 4. 区分を新設するもの



(5) オリーブ (学名 : *Olea europaea* L.)

改 正 案	現 行
<u>樹勢、樹姿、枝の粗密、葉身の長さ、葉身の幅、葉身の長さ／幅、葉身表面の緑色の濃淡、葉身の縦断面の曲がり、葉身のねじれ、花序の長さ、花序の幅、花弁の姿勢、果実の長さ、B面における果実の幅、果実の重さ、A面における果実の形、A面における果実の長さ／幅、未成熟果の緑色の濃淡、未成熟果の果点の大きさ、未成熟果の果点の数、果皮を覆う色、A面における果実の対称性、A面における果実先端の形、果実の突起、A面における果実基部の形、果実表面の果粉の強弱、B面における核の形、核の長さ、B面における核の幅、核の長さ／幅、核の重さ、A面における核の対称性、B面における核の対称性、核基部の溝の数、核基部の溝の分布、A面における核先端の形、核の突起の有無、A面における核基部の形、核表面のしわの強弱</u>	なし 

1-4. 区分を新設するもの



(6) メノマンネングサ (学名 : *Sedum japonicum* Sieb. ex Miq. *Sedum album* L.)

改 正 案	現 行
<u>草姿、草丈、株の幅、葉群のアントシアニンの着色の強弱、葉群の粗密、側枝の色、葉の長さ、葉の幅、葉の長さ／幅の比、葉の最大幅の位置、葉の表面の色、葉の斑の有無、葉の斑の色、葉の先端の形、葉の基部の形</u>	なし 

1－4．区分を新設するもの



(7) ハナセンナ（学名： *Senna corymbosa* (Lam.) H. S. Irwin & Barneby *Senna pendula* var. *glabrata* (Vogel) H. S. Irwin & Barneby)

改 正 案	現 行
<u>樹高、樹姿、節間長、葉の長さ、葉の幅、葉の緑色の濃淡、葉の裏面の色、葉の斑の有無、葉の斑の色、小葉の形、小葉の基部の形、小葉の先端部の形、小葉の数、小葉の葉身の長さ、小葉の葉身の幅、花序の型、花序の花数、花の縦径、花の横径、花弁の主な色、花弁の複色の有無、花弁の複色（複色のある品種に限る。）、がくの主な色、雌ずいの主な色、花糸の色、開花始期</u>	なし 

1－4．区分を新設するもの



(8) ウロクロア (学名 : *Urochloa* P Beauv. [*Brachiaria* (Trin.) Griseb.])

改 正 案	現 行
<u>草姿、草丈、ほふく枝の節間長、稈の節間長、稈の直径、止め葉の葉身の曲がり、止め葉の葉身の幅、止め葉の葉しょうの毛の分布、葉身の長さ、葉身の幅、葉身の毛の有無、葉身の毛の分布、葉しょうの毛の粗密、花序の中央の軸の長さ、花軸の横断面の形、小穂の長さ、花柄の長さ、小穂の毛の粗密、柱頭の色、小穂の包穎のアントシアニン、出穂期</u>	なし 

1－4．区分を新設するもの



(9) その他観賞樹

改 正 案	現 行
<u>植物体の形状、植物体の大きさ、茎の形状、茎の大きさ、茎の色彩、葉の形状、葉の大きさ、葉の色彩、花の形状、花の大きさ、花の色彩、果実の形状、果実の大きさ、果実の色彩、種子の形状、種子の大きさ、種子の色彩、根の形状、根の大きさ、根の色彩、開花特性、病虫害抵抗性、環境耐性、品質特性</u>	なし

(参考) その他観賞樹の品種特性の記述例



植物の種類：学名（和名）
栽培期間：定植201X年〇月〇日、開花盛期201X年〇月〇日
栽培場所：〇〇県△△市
調査年月日：201X年〇月〇日

重要な形質	品種特性
植物体の形状	立性
植物体の大きさ	樹高(or植物体の高さ)：83c (±12.34) 株の幅：53.4cm (±10.52)
茎の形状	枝の毛の粗密：無
茎の大きさ	枝の太さ：1.34mm (±0.14) 節間の長さ：109mm (±8.18) 側枝の数：11.3本 (±2.45)
茎の色彩	樹皮の色：167 A 新しうのアントシアニン着色の強弱：無
葉の形状	心臓形 葉身の凹凸：無 葉身の周縁部の波打ち：無
葉の大きさ	葉身の長さ：29.7mm (±2.00) 葉身の幅：18.5mm (±1.34) 葉柄の長さ：5.56mm (±0.75)
葉の色彩	新葉の地色：195A 葉身の色：137A 葉身の斑の有無：無
花の形状	花序の型：頂生
花の大きさ	1 花序の花数：4.5 (±0.21) 花の縦径：15.7mm (±1.41) 花の横径：4.8mm (±0.35)

花の色彩	花弁表面の主な色：11B、がくの主な色：139 A
果実の形状	果頂部の形：鋭形 基部の形：円形
果実の大きさ	果実の幅：23mm (±2.14)
果実の色彩	果皮の色：72A
種子の形状	該当なし
種子の大きさ	該当なし
種子の色彩	該当なし
根の形状	調査なし
根の大きさ	調査なし
根の色彩	調査なし
開花特性	開花盛期：5月中旬～5月下旬
病虫害抵抗性	褐斑病への抵抗性：強（在来種との比較）
環境耐性	該当なし
品質特性	該当なし

（注）長さ等の数値は平均値であり、（）書きは標準偏差。色に係る数値はRHSカラーチャートN o

1－4．区分を新設するもの



(10) その他球根類

改 正 案	現 行
<u>植物体の形状、植物体の大きさ、茎の形状、茎の大きさ、茎の色彩、葉の形状、葉の大きさ、葉の色彩、花の形状、花の大きさ、花の色彩、果実の形状、果実の大きさ、果実の色彩、種子の形状、種子の大きさ、種子の色彩、根の形状、根の大きさ、根の色彩、開花特性、病虫害抵抗性、環境耐性、品質特性</u>	なし

1－4．区分を新設するもの



(11) その他ラン類

改 正 案	現 行
<u>植物体の形状、植物体の大きさ、茎の形状、茎の大きさ、茎の色彩、葉の形状、葉の大きさ、葉の色彩、花の形状、花の大きさ、花の色彩、果実の形状、果実の大きさ、果実の色彩、種子の形状、種子の大きさ、種子の色彩、根の形状、根の大きさ、根の色彩、開花特性、病虫害抵抗性、環境耐性、品質特性</u>	なし

1－4．区分を新設するもの



(12) その他草花（その他球根類及びその他ラン類を除く。）

改 正 案	現 行
<u>植物体の形状、植物体の大きさ、茎の形状、茎の大きさ、茎の色彩、葉の形状、葉の大きさ、葉の色彩、花の形状、花の大きさ、花の色彩、果実の形状、果実の大きさ、果実の色彩、種子の形状、種子の大きさ、種子の色彩、根の形状、根の大きさ、根の色彩、開花特性、病虫害抵抗性、環境耐性、品質特性</u>	なし

3. 審査の運用の結果等により改正するもの



- (1)クワ
- (2)キリンソウ

3. 審査の運用の結果等により改正するもの



(1) クワ (学名 : *Morus* L.)

改 正 案	現 行
<u>倍数性、樹勢、樹姿、枝の数、枝の揃い、側枝数、矮小枝の数（飼料用品種に限る。）</u>、<u>枝の長さ、不発芽部位の長さ、枝の太さ、枝の屈曲の強弱（飼料用品種に限る。）</u>、<u>枝の色、節間長、新しう割合（飼料用品種に限る。）</u>、<u>芽の大小、芽の形、芽の色、副芽の多少（飼料用品種に限る。）</u>、<u>葉序、葉の着生角度、葉身の長さ、葉身の幅、葉身の厚さ、葉身の先端の形、葉身の基部の形、葉身の欠刻の有無、葉身の欠刻の深さ、葉身の鋸歯の形、葉身の表面の色、葉身の表面の光沢の強弱、葉柄の長さ、葉のこき取りの難易（飼料用品種に限る。）</u>、<u>花性、雌花穂の多少、果実の縦径（飼料用品種を除く。）</u>、<u>果実の横径（飼料用品種を除く。）</u>、<u>果実の重さ（飼料用品種を除く。）</u>、<u>果実の形（飼料用品種を除く。）</u>、<u>果実の色（飼料用品種を除く。）</u>、<u>果柄の長さ（飼料用品種を除く。）</u>、<u>糖度（飼料用品種を除く。）</u>、<u>酸度（飼料用品種を除く。）</u>、<u>発芽期、再発芽力（飼料用品種に限る。）</u>、<u>開花期（飼料用品種を除く。）</u>、<u>成熟期（飼料用品種を除く。）</u>、<u>枝の伸長停止期（飼料用品種に限る。）</u>、<u>さし木の発根性（飼料用品種に限る。）</u>、<u>葉の硬化の早晚（飼料用品種に限る。）</u>、<u>枝の先枯れの多少（飼料用品種に限る。）</u>	<u>倍数性、樹勢、刈桑樹型、冬芽の形、冬芽の大小、冬芽の色、副芽の多少、枝条数、枝の揃い、側枝数、矮小枝条の数、枝条の長さ、枝条の太さ、枝条の色、枝の屈曲の強弱、節間長、葉序、葉の着生角度、葉身の欠刻の数、葉身の欠刻の深さ、葉身の大きさ、葉身の先端の形、葉身の鋸歯の形、葉身の基部の形、葉身の表面の色、葉身の表面の光沢の強弱、葉身の厚さ、葉柄の長さ、花性、雌花穂の多少、花柱の長さ、果実の縦径（果実用品種に限る。）</u>、<u>果実の横径（果実用品種に限る。）</u>、<u>果実の形（果実用品種に限る。）</u>、<u>果実の重さ（果実用品種に限る。）</u>、<u>果実の色（果実用品種に限る。）</u>、<u>着果数、果柄の長さ（果実用品種に限る。）</u>、<u>種子の大きさ（果実用品種に限る。）</u>、<u>発芽の早晚、再発芽力、枝条の伸長停止期、さし木の発根力、枝条の先枯れの多少、耐倒伏性、胴枯病抵抗性、縮葉細菌病抵抗性、萎縮病抵抗性、裏うどんこ病抵抗性、菌核病抗性抵（果実用品種に限る。）</u>、<u>春蚕期の収葉量（果実用品種を除く。）</u>、<u>夏秋蚕期の収葉量（果実用品種を除く。）</u>、<u>春蚕期の新しう割合（果実用品種を除く。）</u>、<u>夏秋蚕期の葉量割合（果実用品種を除く。）</u>、<u>芽のすそ上り、葉のこき取りの難易、葉の硬化の早晚、飼料価値（蚕飼料用品種に限る。）</u>、<u>開花期（果実用品種に限る。）</u>、<u>成熟期（果実用品種に限る。）</u>、<u>糖度（果実用品種に限る。）</u>、<u>酸度（果実用品種に限る。）</u>

3. 審査の運用の結果等により改正するもの



(2) キリンソウ (学名 : *Phedimus aizoon* (L.) 't Hart
Phedimus kamtscticus (Fisch.) 't Hart
Phedimus takesimensis (Nakai.) 't Hart)

改 正 案	現 行
分枝性、草姿、冬期の草丈、草丈、冬期の株の幅、株の幅、冬期の茎の長さ、茎の長さ、冬期の茎の太さ、茎の太さ、冬期の茎の色、茎の色、越冬芽の有無、越冬芽の展葉の早晚、冬期の葉の数、葉の数、葉の向き、冬期の葉の長さ、葉の長さ、冬期の葉の幅、葉の幅、冬期の葉の厚さ、葉の厚さ、冬期の葉の形、葉の形、冬期の葉の基部の形、葉の基部の形、葉の先端部の形、葉の横断面の反り、葉の縦断面の反り、冬期の葉のアントシアニン着色の強弱、冬期の葉のアントシアニン分布、冬期の葉の主な色、葉の主な色、葉の斑の有無、葉の斑の色、葉の斑の模様、葉の鋸歯の形、葉の鋸歯の大きさ、葉の鋸歯の分布、花序の長さ、花序の幅、花の直径、がくのアントシアニン着色の有無、花冠裂片の長さ、花冠裂片の幅、花冠裂片の形、花冠裂片の表面の色、やくの色、開花期	一 草姿及び草丈 二 茎の形状及び葉の形状 三 花の形状、果実の形状（果実を食用、加工用又は品種の識別のために利用するものに限る。）及び種子の形状（種子を食用、加工用又は品種の識別のために利用するものに限る。） 四 品質特性 五 早晩性、ねん性（不ねん現象のあるものに限る。）、環境耐性、病害抵抗性及び虫害抵抗性 六 前各号に掲げるもののほか、根部を利用するものにあつては根の形状、主に食用としてデンプン源、タンパク源等として使用するものにあつては収量性、台木用品種にあつては接ぎ木特性
	